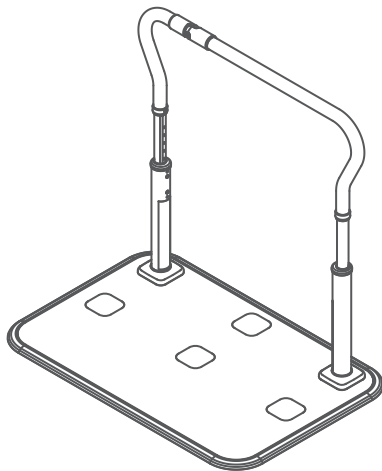
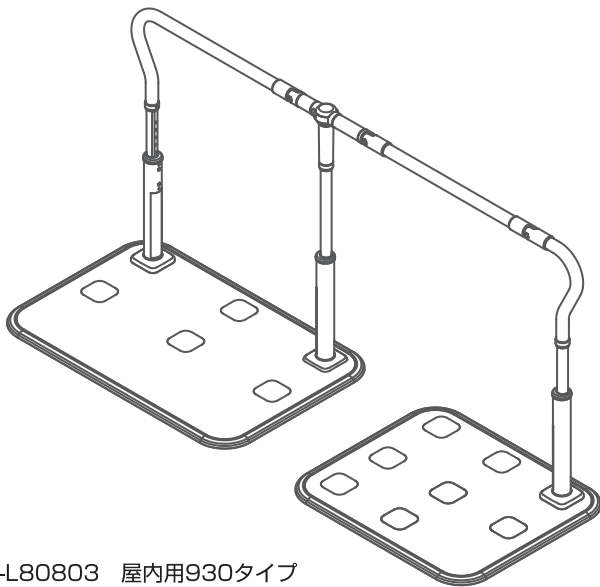


取扱説明書

歩行サポート手すり スムーディ<屋内用> 家庭用



XPN-L80801 屋内用



XPN-L80803 屋内用930タイプ
XPN-L80809 屋内用手すり210+620

☐ 屋内用	品番	XPN-L80801
☐ 屋内用1530タイプ	品番	XPN-L80802
☐ 屋内用930タイプ	品番	XPN-L80803
☐ 屋内用930タイプ+930	品番	XPN-L80804
☐ 屋内用930タイプ+620	品番	XPN-L80805
☐ 屋内用手すり210	品番	XPN-L80806
☐ 屋内用回転手すり330	品番	XPN-L80807
☐ 屋内用手すり210+930	品番	XPN-L80808
☐ 屋内用手すり210+620	品番	XPN-L80809
☐ 屋内用回転手すり330+930	品番	XPN-L80810
☐ 屋内用回転手すり330+620	品番	XPN-L80811

もくじ

安全上のご注意	2
同梱品の確認	7
各種部品表	8
各部のなまえ	9
初めて使うときの準備	10
手すりを組み立てる	15
組み立て・設置確認	18
お手入れのしかた	19
修理を依頼される前に	20
仕様	21
製品寸法図	21
製品の長期使用について	23
保管方法	23
保証とアフターサービス	23
お客様ご相談窓口のご案内	24

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷などを負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

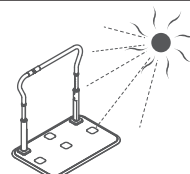
転倒、事故、けが
などを防ぐために



手すりを設置する際は



- 屋外に設置しない(変形、破損の原因)



- 連結して使用する際は、端支柱または端手すりを必ず端に設置する
- 支柱は指定の位置に取り付ける
(転倒によるけがの原因)

連結して使用する場合

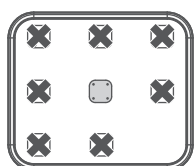
- ・ 標準ベース(✕ は使用しない箇所)



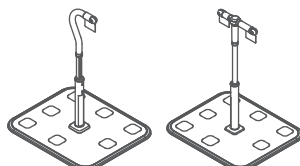
※ ミドルベースは全ての位置に取り付けできます

連結せずに使用する場合(単独仕様)

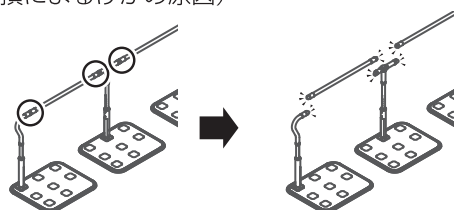
- ・ ミドルベースのみ(✕ は使用しない箇所)



※ 屋内用標準ベースは単独仕様では使用しません



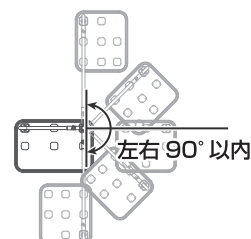
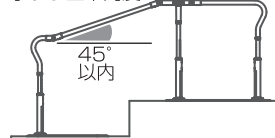
- 製品を移動させるときは
手すりを外した状態で移動する
(製品の破損によるけがの原因)



- 手すりの角度を調整するときは、必ず
回転固定ネジを緩めた状態で調整する
(製品の破損によるけがの原因)

- 手すりの角度は上下 45°、左右 90° 以内に
収まるように設置する

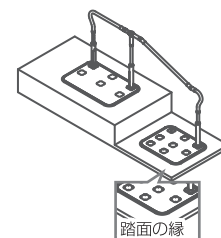
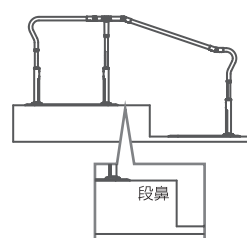
手すり上下角度



- ベースが床面に接地し、支柱が床面と
垂直になるように設置する
(転倒によるけがの原因)



- 段差に設置する際は、ベースの端部が
段差からはみ出さないように設置する



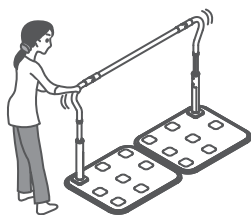


警告

転倒、けが
などを防ぐために



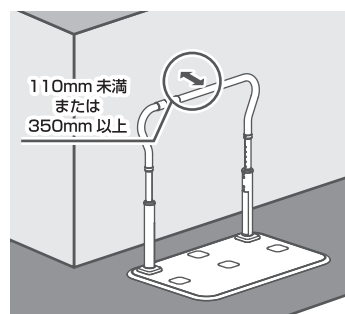
- 毎回使用する前に製品にガタつきがないか確認する
(転倒によるけがの原因)
→ 床面とベースの間にすき間がないようにベースが設置できているか確認する



- 設置後、隣接したベース同士が重なっていないことを必ず確認する
- 設置後、ガタつき、ネジのゆるみ、締め忘れがないことを必ず確認する
- 布団からの起き上がりで使用する場合はベースを敷布団の下に差し込み、手すりを布団と平行にする
(転倒によるけがの原因)



- 壁際に設置する場合は、壁と手すりとの間が110mm未満または350mm以上になるように設置する
(窒息、骨折の原因)

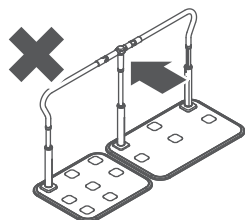


- 利用者がベースを踏みながら使用できるように設置する
- 利用者の身体状況、設置環境にあったフィッティングを行い、手すり高さ、動線確認を行う
- 設置後、必ず組み立て・設置確認(P.18)をチェックする
(事故の原因)

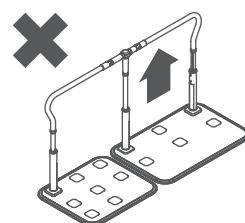
手すりを使用する際は



- 水平方向に力を加えて使用しない
※手すり部を持って床面に向かって押さえつける方向に力を加えてください



- 手すり部を引抜き方向に力を加えない

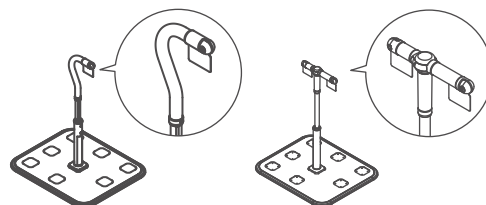


- 指定のネジや部品以外で組み立てしない
(破損によるけがの原因)
- 取扱説明書記載の指定品番内の組み合わせ以外で組み立てしない
(転倒によるけがの原因)

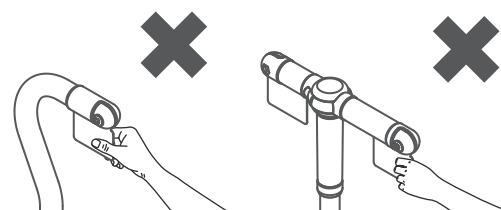


- 回転連結支柱上部のジョイントを分解して他の製品と連結しない
(破損によるけがの原因)
→ 他の製品と組み合わせた製作物の安全は保証できません

- 屋内用手すり 210、屋内用回転手すり 330のみで手すりを使用する場合は、注意プレートを取り外して使用しない
(袖の入り込みによる転倒、けがの原因)



- 屋内用手すり 210、屋内用回転手すり 330のみで手すりを使用する場合は、注意プレートをつかんで使用しない
(転倒によるけがの原因)



安全上のご注意

必ずお守りください

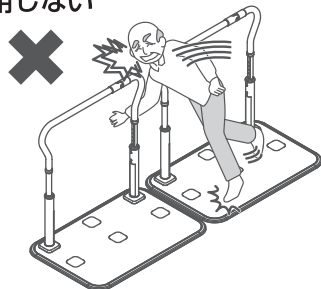
！ 警告

転倒、破損、劣化
などを防ぐために

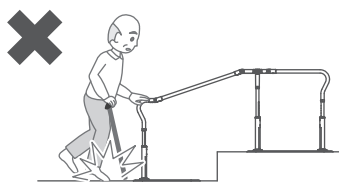


手すりを使用する際は

- 手や足が濡れた状態で使用しない
- ベースや手すり部が濡れた状態で使用しない
- 柔らかい床面、凹凸、段差、傾斜のある床面では使用しない
- 2人以上同時に使用しない
(変形、破損によるけがの原因)
- 車いすからの立ち上がりには使用しない
(転倒によるけがの原因)
- 利用者がはさまらないよう連結されていない2台を隣接して使用しない
(窒息、骨折の原因)



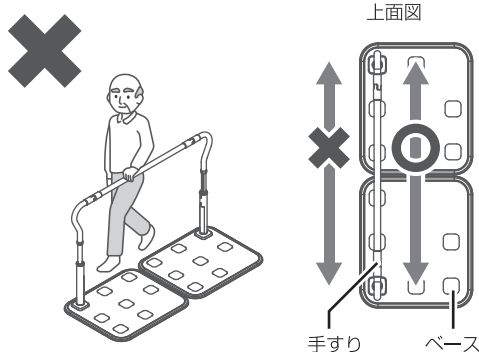
- 杖など移動支援具と合わせて使用しない
(つまずき、転倒によるけがの原因)



- 子ども、幼児を遊ばせるなど、手すり以外の目的で使用しない
- 手すり部に座ったり、ぶら下がったりしない
(変形、破損、転倒によるけがの原因)
- 手すり部を引っ張ったり体をぶつけたりしない
(破損、転倒によるけがの原因)
- 火気やストーブ、ファンヒーターのそばで使用しない
(火災や火傷の原因)
- 想定安全使用期間(8年)を超えた製品は使用しない(P.23を確認)
(劣化、破損による事故の原因)

- 屋内用手すり 210、屋内用回転手すり 330のみで手すりを使用する場合は、手すり先端がベースからはみ出さないように支柱をミドルベース中央に取り付ける
(P.2 支柱取り付け位置を確認)

- 暗闇など手すり位置を認識できない状態での使用は十分に注意する
(転倒によるけがの原因)
- 手すり部表面にひび割れなどの劣化がないことを確認して使用する
(けがの原因)
- 手すりはベース踏面がある側から使用する
(転倒によるけがの原因)



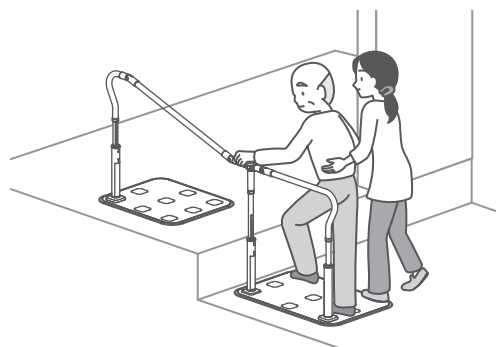
- 使用中にゆるみやガタつきが発生した場合は直ちに使用を中止して必ず納入業者に相談する
(事故の原因)

- ベースを接地面に固定しない製品のため設置後の安定性を確認の上、使用する

- ベースの段差や支柱カバーにつまづかないように注意する

- 利用者の状況(安全に使用できるか)を確認し、介助が必要な場合は介助者が付き添うなど安全に十分注意する
(事故の原因)

→適さなくなった場合は、直ちに使用をやめ医師や介護士、ケアマネジャーなどの専門家に相談し、適切な処置を受けてください





警告

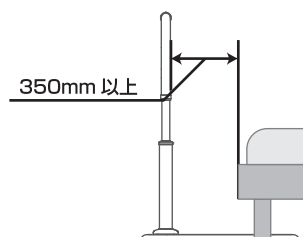
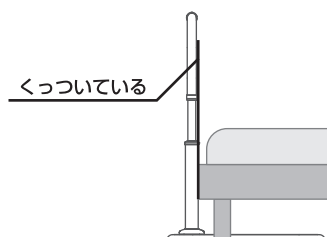
事故などを
防ぐために



ベッドサイドで使用する際は



- 安定性を確認して使用する
(転倒によるけがの原因)
- キャスター付きのベッドで使用する場合は、必ずキャスターを固定する
(挟まりによる窒息、骨折や転倒によるけがの原因)
- 折りたたみベッドで使用する場合は、ベッドの折りたたみ機構を必ずロックして使用する
(変形・破損・転倒によるけがの原因)
- 電動ベッドに設置して使用する場合は、電動ベッドの取扱説明書を確認する
(特殊寝台など、本製品が使用できない場合がある)
- 電動ベッドに設置して使用する場合は、利用者がはさまれない安全な位置に設置する
- ベッドサイドに設置する場合、ベッドと平行に、
ベッドと手すり部をぴったりとくっつけるか、
350mm 以上離して設置する。(右図参照)
(窒息・骨折の原因)



次のこともご注意ください



- 修理業者以外の方が分解、改造、修理は行わない
(性能低下による事故の原因)
- 手すり以外の目的で使用しない
(破損や転倒によるけがの原因)
- 体重 100kg を超える方は使用しない
(変形・破損や転倒によるけがの原因)
- 製品梱包用のポリ袋やシートはかぶらない
(窒息の原因)



- 製品に異常を見つけた場合は使用を中止する
(事故の原因)
→ 正しく設置できていない場合や機能を損なう状態の場合は直ちにご使用を中止し、
お買い上げの販売店にご連絡ください

安全上のご注意

必ずお守りください

！ 注意

破損、転倒、けが
などを防ぐために



組み立ての際は

- **！** ベースおよび手すり部は必ず指定の位置に指定のネジで固定する
- 持ち運びの際は製品が落下しないように注意する
(変形・破損の原因)
- ネジはネジ穴に対してまっすぐ締め付ける
(破損の原因)
- 組立は納入業者がおこなう
(事故の原因)
- ベース設置の際は、指や足をはさまないように十分注意して設置する
(けがの原因)
- 高さ調整を行う際は、手すり部を持ち上げながら行う
(落下によるけがの原因)

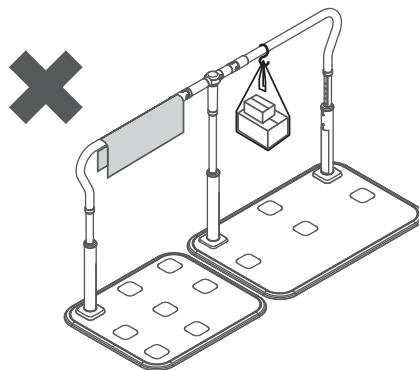
カーペットは

- **○** カーペットを取り外して本製品以外で
使用しない
(破損、けがの原因)
- 重いものや鋭利なものを乗せない
(破れによる転倒の原因)
- ドラム式洗濯乾燥機や乾燥機は使用しない
- アイロンを使用しない
(縮みによる転倒の原因)
- **！** ベースに貼り付けた状態で使用する
(転倒の原因)
- 洗濯表示にしたがって洗濯する(P.19を確認)
(縮み、劣化による転倒の原因)

次のこともご注意ください

- **○** 本製品に貼ってあるシールや印字をはがさない
(事故の原因)
→ 利用者を危険から守るためや故障時に素早い対応をするためです
ロット番号から詳細仕様が分かり、的確な対応が可能になります

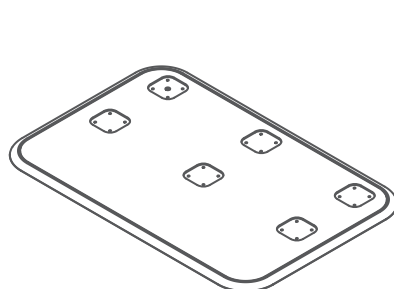
- 製品に重量物を乗せたり、手すりに
物をかぶせたりしない
(変形、破損による事故の原因)



- **！** 手の油やハンドクリームなどで手すり部が滑るようになった場合
拭き取って使用する
(転倒によるけがの原因)
- 本製品は直射日光に当たらない常温常湿の室内で保管する
(変形、破損の原因)
- 開き戸付近に設置する際は、扉と手すりとの干渉や
扉下とベースとの干渉を確認して設置する
(扉や製品の破損の原因)
- 定期的に各部位に破損などがいないか確認する
(事故の原因)

同梱品の確認

品番：PN-L80801 / 品名：屋内用標準ベース



屋内用標準ベース
1枚

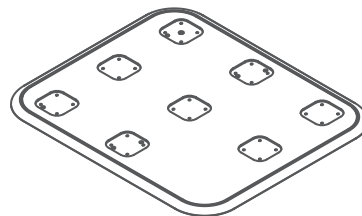


穴ふさぎ
5枚(予備1枚)



取扱説明書 1冊
(保証書 1部)

品番：PN-L80804 / 品名：屋内用ミドルベース



屋内用ミドルベース
1枚

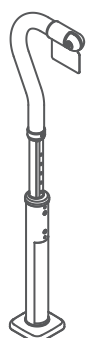


穴ふさぎ
7枚



取扱説明書 1冊
(保証書 1部)

品番：PN-L80802 / 品名：屋内用端支柱



屋内用端支柱
1本



エンドキャップ
1個



ジョイント
固定ネジセット
1本



平ワッシャー
1個



注意プレート
1枚



ジョイント
固定ナット
1個



支柱固定ネジ
(スプリングワッシャー付)
4本



平ワッシャー (内径Φ6)
4個

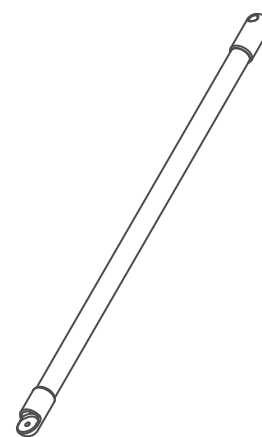


ネジキャップ
1個



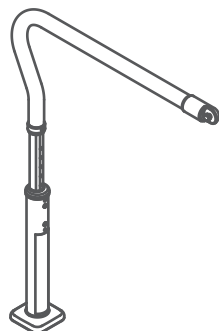
六角レンチ
(小)呼び4：1本
(大)呼び6：1本

品番：PN-L80806 /
品名：屋内用手すり 930

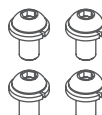


屋内用手すり 930
1本

品番：PN-L80803 / 品名：屋内用端手すり



屋内用端手すり
1本



支柱固定ネジ
(スプリングワッシャー付)
4本

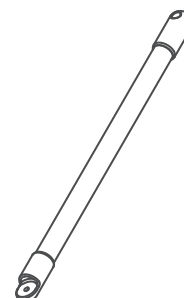


六角レンチ
(小)呼び4：1本



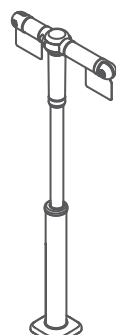
平ワッシャー (内径Φ6)
4個

品番：PN-L80807 /
品名：屋内用手すり 620



屋内用手すり 620
1本

品番：PN-L80805 / 品名：屋内用回転連結支柱



屋内用回転連結支柱
1本



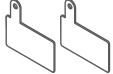
エンドキャップ
2個



ジョイント
固定ネジセット
2本



平ワッシャー
2個



注意プレート
2枚



ジョイント
固定ナット
2個



支柱固定ネジ
(スプリングワッシャー付)
4本



平ワッシャー (内径Φ6)
4個

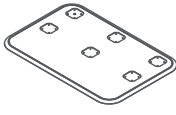
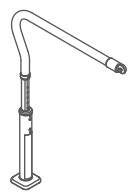
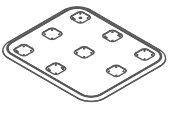
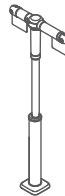


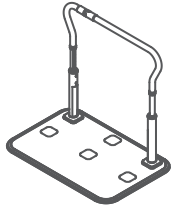
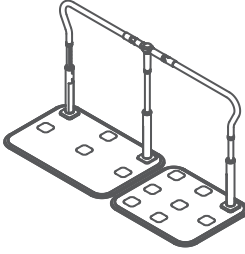
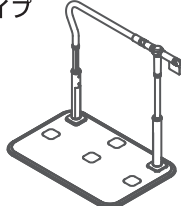
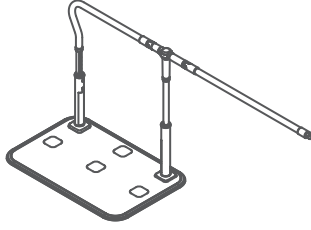
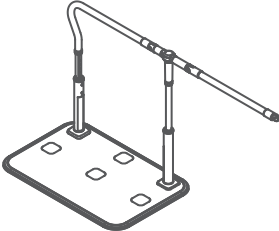
ネジキャップ
2個

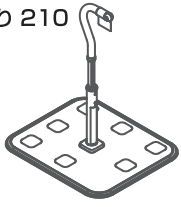
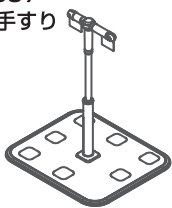
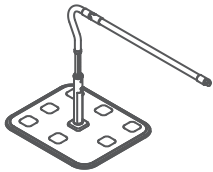
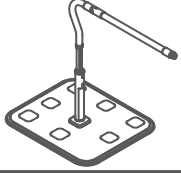
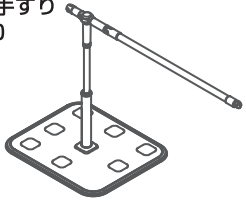
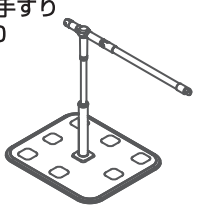


六角レンチ
(小)呼び4：1本
(大)呼び6：1本

各種部品表

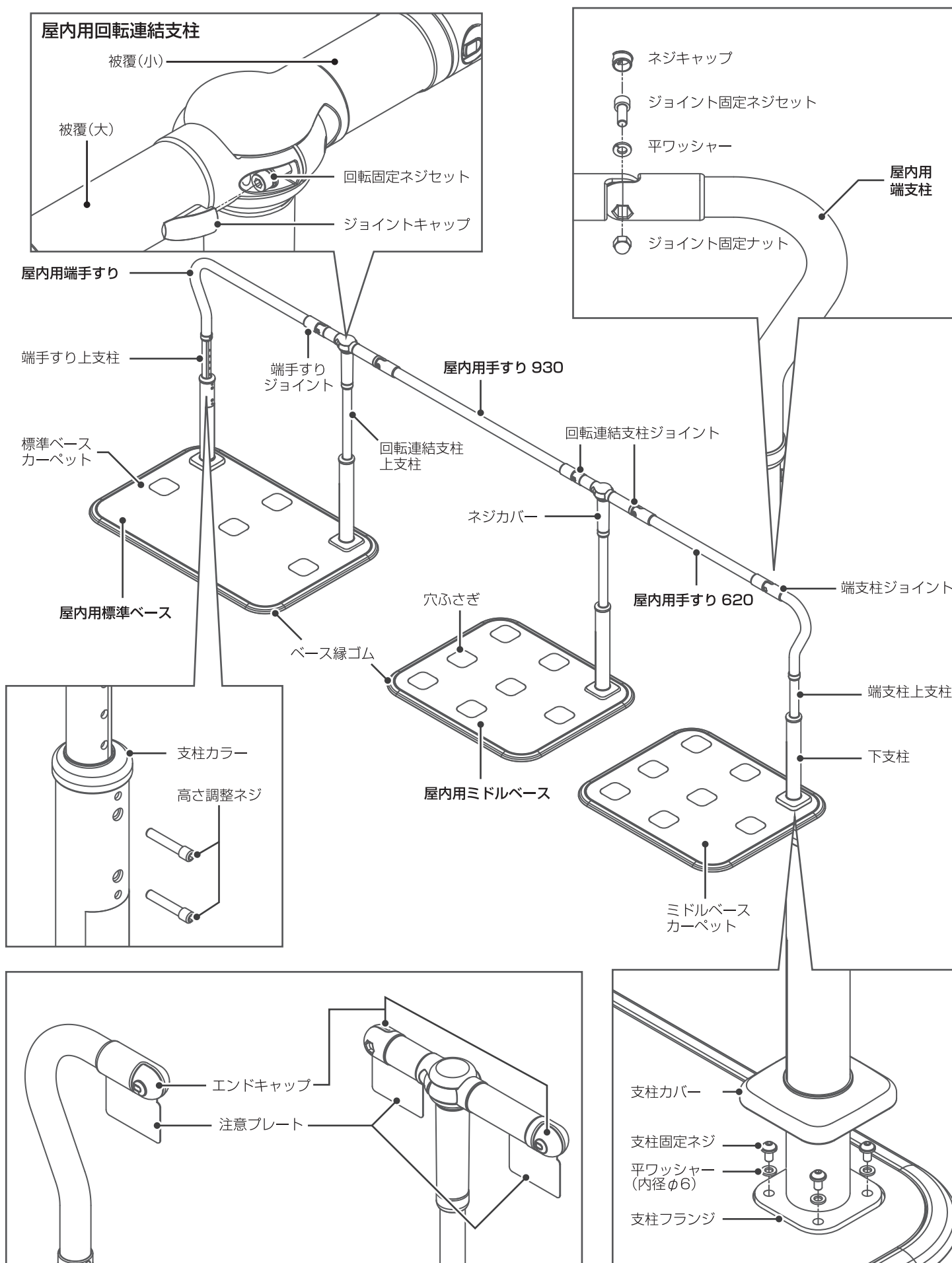
ユニット構成							
品名	屋内用標準ベース	屋内用端支柱	屋内用端手すり	屋内用ミドルベース	屋内用回転連結支柱	屋内用手すり 930	屋内用手すり 620
品番	PN-L80801	PN-L80802	PN-L80803	PN-L80804	PN-L80805	PN-L80806	PN-L80807
イメージ	 (600x900mm)			 (600x700mm)			

セット品番	部品	数量
XPN-L80801 屋内用 	PN-L80801 屋内標準ベース	1
	PN-L80802 屋内用端支柱	1
	PN-L80803 屋内用端手すり	1
XPN-L80802 屋内用 1530 タイプ 	PN-L80801 屋内標準ベース	1
	PN-L80803 屋内用端手すり	2
	PN-L80804 屋内用ミドルベース	1
	PN-L80805 屋内用回転連結支柱	1
XPN-L80803 屋内用 930 タイプ 	PN-L80801 屋内標準ベース	1
	PN-L80803 屋内用端手すり	1
	PN-L80805 屋内用回転連結支柱	1
XPN-L80804 屋内用 930 タイプ+930 	PN-L80801 屋内標準ベース	1
	PN-L80803 屋内用端手すり	1
	PN-L80805 屋内用回転連結支柱	1
	PN-L80806 屋内用手すり 930	1
XPN-L80805 屋内用 930 タイプ+620 	PN-L80801 屋内標準ベース	1
	PN-L80803 屋内用端手すり	1
	PN-L80805 屋内用回転連結支柱	1
	PN-L80807 屋内用手すり 620	1

セット品番	部品	数量
XPN-L80806 屋内用手すり 210 	PN-L80802 屋内用端支柱	1
	PN-L80804 屋内用ミドルベース	1
XPN-L80807 屋内用回転手すり 330 	PN-L80804 屋内用ミドルベース	1
	PN-L80805 屋内用回転連結支柱	1
XPN-L80808 屋内用手すり 210+930 	PN-L80802 屋内用端支柱	1
	PN-L80804 屋内用ミドルベース	1
XPN-L80809 屋内用手すり 210+620 	PN-L80802 屋内用端支柱	1
	PN-L80804 屋内用ミドルベース	1
XPN-L80810 屋内用回転手すり 330+930 	PN-L80804 屋内用ミドルベース	1
	PN-L80805 屋内用回転連結支柱	1
XPN-L80811 屋内用回転手すり 330+620 	PN-L80804 屋内用ミドルベース	1
	PN-L80805 屋内用回転連結支柱	1
	PN-L80806 屋内用手すり 930	1
	PN-L80807 屋内用手すり 620	1

各部のなまえ

歩行サポート手すり スムーディ<屋内用>



初めて使うときの準備

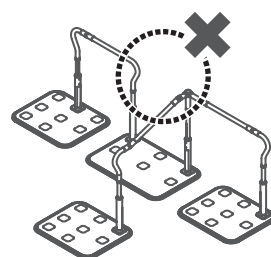
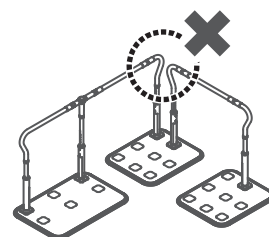
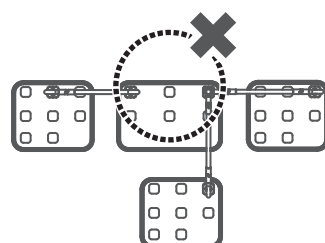
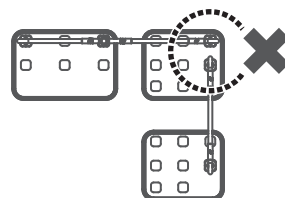
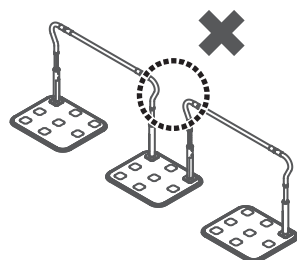
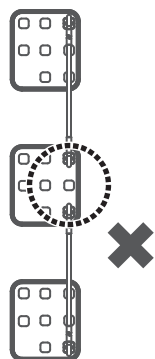
組み合わせる製品の手すり取り付け位置を確認

下記「×」の組み合わせで連結して使用しないでください。けがの原因となります。

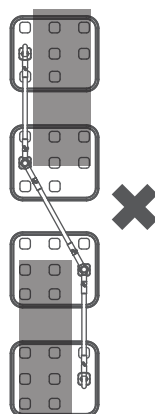
手すりを使用する際は、必ずベースのある側から使用してください。



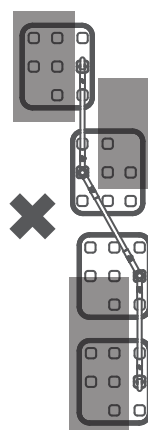
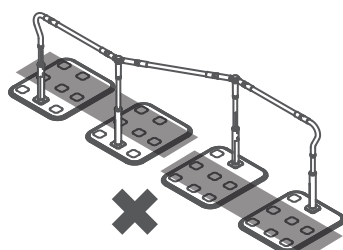
ミドルベース 1 枚に対して支柱 2 本を取り付けた状態で使用しないでください
標準ベース 1 枚に対して支柱 2 本の間が開いた状態で取り付けしないでください
(頭や首、身体のはさみこみの原因となります)



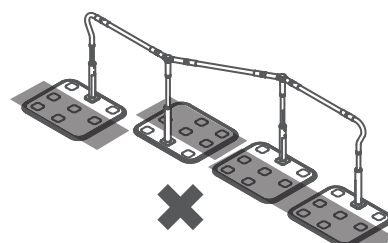
ベースをしっかりと踏むことができない位置に支柱を取り付けて使用しないでください
(安定性がなくなり、転倒の原因となります)



歩行(使用)可能エリア



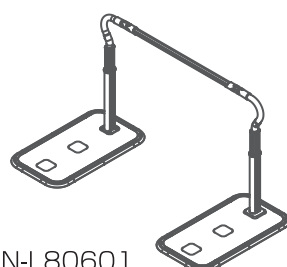
歩行(使用)可能エリア



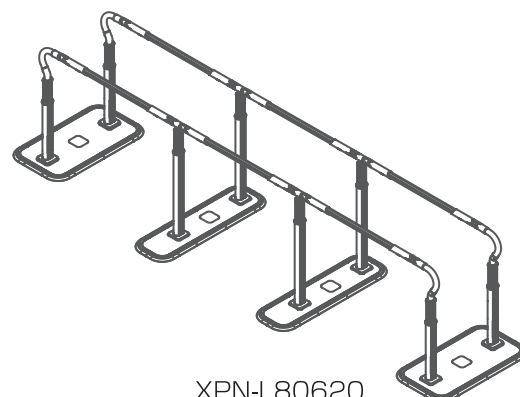
本製品は「歩行サポート手すり スムーディ<屋内用>」です
「歩行サポート手すり スムーディ」とは連結して使用しないでください
(転倒の原因となります)

連結不可対象製品・品番

- ・ XPN-L80601 標準タイプ 片手すり
- ・ 他、XPN-L806XX (XX は 02 ~ 28) 全 28 種



XPN-L80601



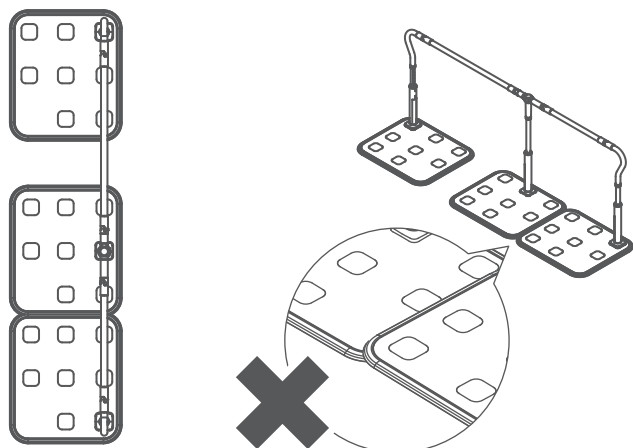
XPN-L80620

初めて使うときの準備

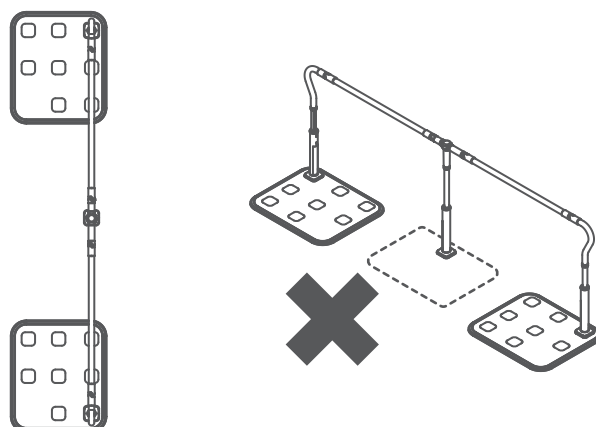
組み合わせる製品の手すり取り付け位置を確認

下記「×」の組み合わせで連結して使用しないでください。
安定性がなくなり転倒の原因となります。

× ベースを重ねた状態で使用しないでください
(ベースがガタつき、転倒の原因となります)

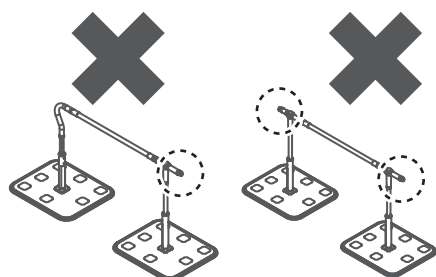


× 支柱がベースに固定されていない状態で使用しないでください
(安定性がなくなり、転倒の原因となります)

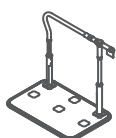


× 手すりを連結して使用する際には、回転連結支柱を端部に使用しないでください
(端支柱または端手すりを必ず端に設置してください)

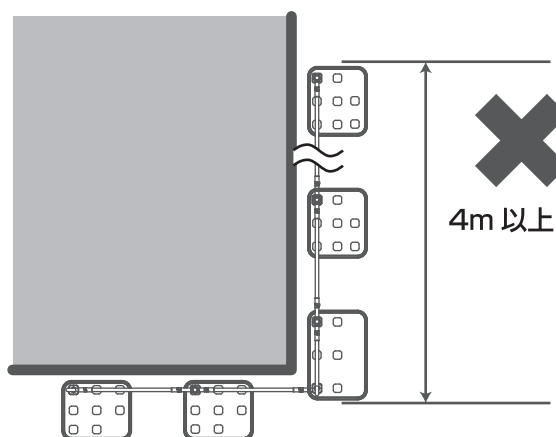
※屋内用 930 タイプは他品番と組み合わせて使用する手すりとなっているため、単体では使用しないでください。



屋内用 930
タイプ

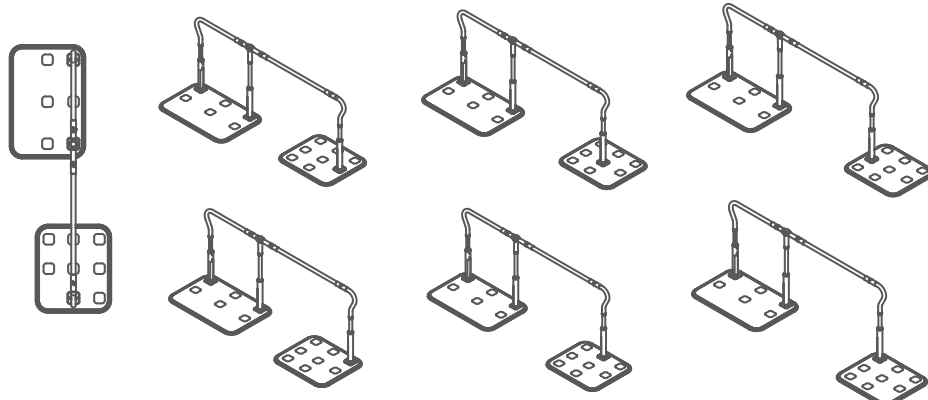


× コーナー部など先が見えない場所で使用する際は、手すりの連結長さを 4m 以上にしないでください(二人使用防止のため)

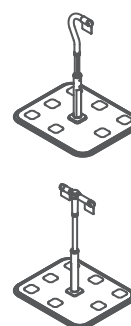


○ ミドルベース内では、どの支柱取り付け位置に支柱を設置しても問題ありません
(利用者がベースをしっかり踏むことができ、ベース同士が干渉しない支柱取り付け位置)

※単独仕様で手すりを使用する場合は、必ずミドルベース中央に支柱を取り付けてください



単独仕様



初めて使うときの準備

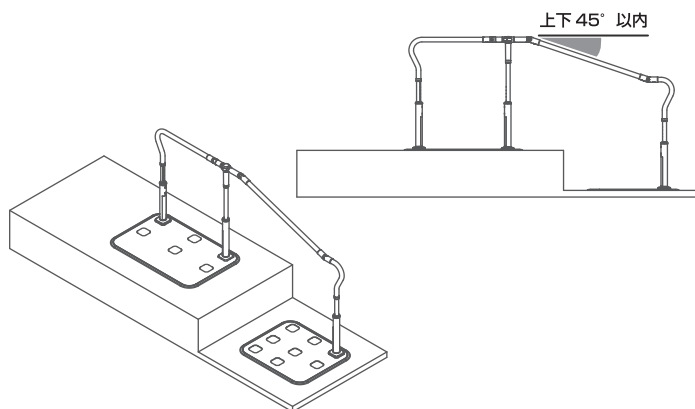
組み合わせる製品の手すり取り付け位置を確認

手すりを使用する際は、必ずベースのある側から使用してください。

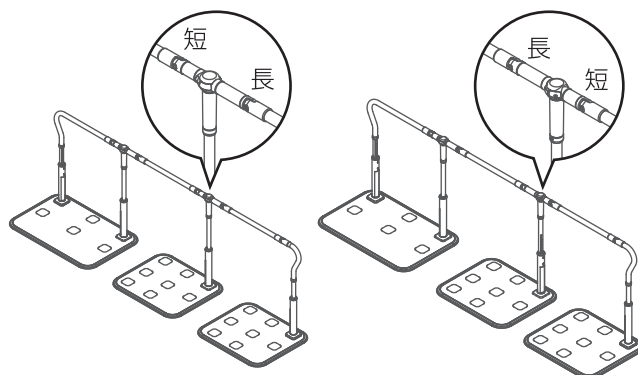
転倒によるけがの原因となります。



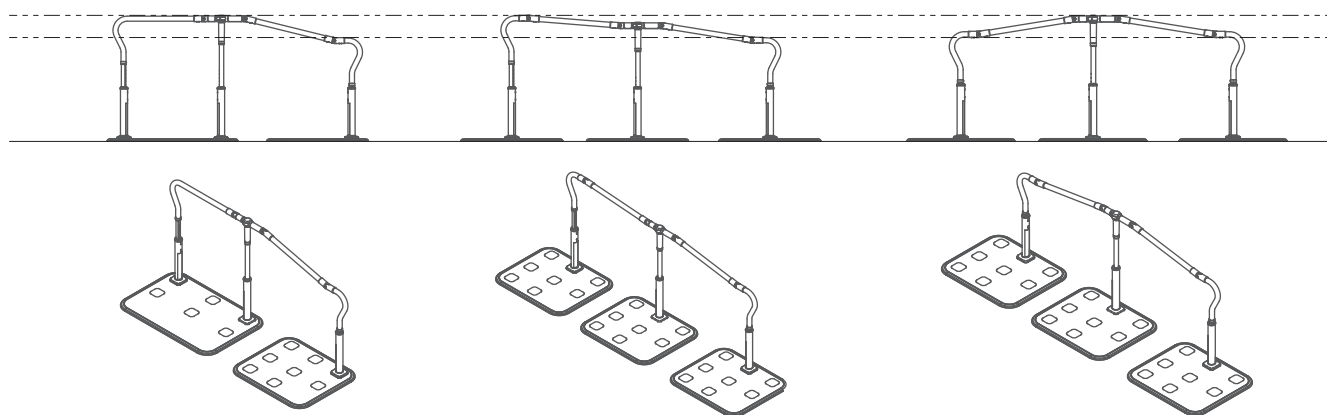
手すりの上下角度が 45° 以内であれば、段差にも取り付け可能です。
(段差上部の段鼻からベースがはみ出さないように注意してください)



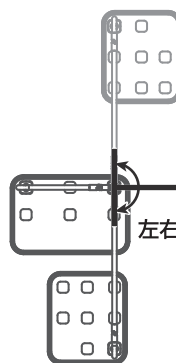
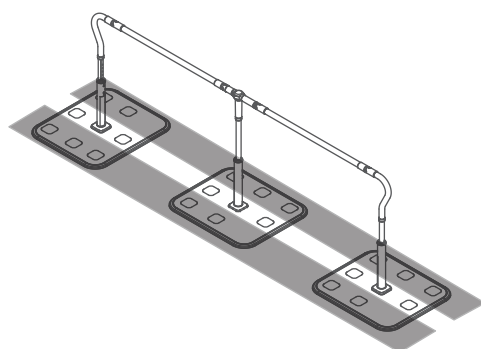
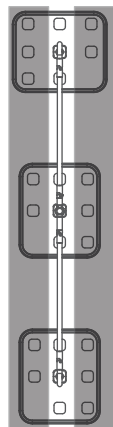
回転連結支柱手すり部の長短を入れ替えて使用しても問題ありません。



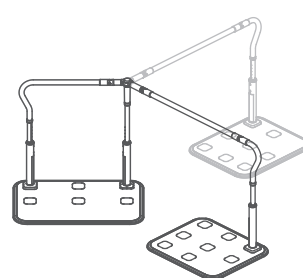
支柱の高さ調整は支柱毎に異なる高さに設定可能です。(上下角度 45° 以内)
標準ベース内に取り付ける支柱 2 本は同じ高さに設定してください。
(支柱の高さは腰の大転子骨あたりに手すり上部がくる位置を目安として調整してください)



ベースの取り付け向きに制限はありません。
(利用者がベースをしっかり踏むことができ、ベース同士が干渉しない支柱取り付け位置)
回転連結支柱の手すり角度は取り付け可能範囲内であれば制限はありません(左右 90° 以内)

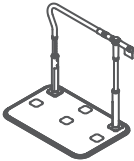
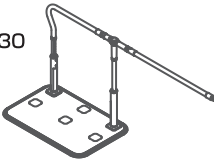
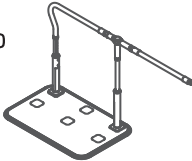
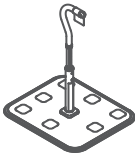
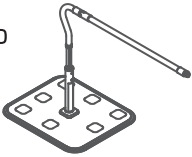
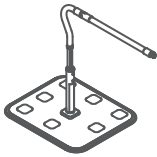
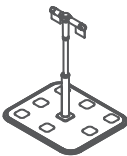
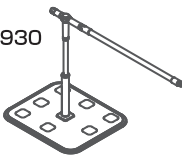
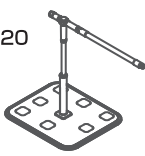


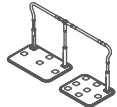
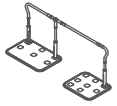
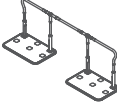
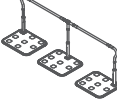
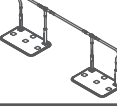
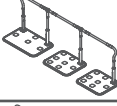
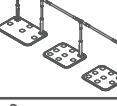
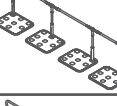
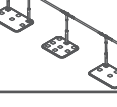
左右 90° 以内



初めて使うときの準備

手すり組み合わせ例

標準ベースのセット		
A XPN-L80803 屋内用 930 タイプ		B XPN-L80804 屋内用 930 タイプ+930
		
		C XPN-L80805 屋内用 930 タイプ+620
		
ミドルベースと端支柱のセット		
D XPN-L80806 屋内用手すり 210		E XPN-L80808 屋内用手すり 210+930
		
		F XPN-L80809 屋内用手すり 210+620
		
ミドルベースと回転連結支柱のセット		
G XPN-L80807 屋内用回転手すり 330		H XPN-L80810 屋内用回転手すり 330+930
		
		I XPN-L80811 屋内用回転手すり 330+620
		

	外 観	手すり外々の長さ (ベース外々の長さ (直線時))	A	B	C	D	E	F	G	H	I
											
1		1730mm (1810mm)	1	-	-	-	-	1	-	-	-
2		2040mm (2120mm)	1	-	-	-	1	-	-	-	-
3		2450mm (2530mm)	1	-	1	-	-	-	-	-	-
4		2540mm (2620mm)	-	-	-	1	1	-	-	1	-
5		2760mm (2840mm)	1	1	-	-	-	-	-	-	-
6		2950mm (3030mm)	1	-	-	-	-	1	-	1	-
7		3260mm (3340mm)	1	-	-	-	1	-	-	1	-
8		3440mm (3540mm)	-	-	-	1	-	1	-	2	-
9		3980mm (4060mm)	-	2	-	-	-	-	1	-	-

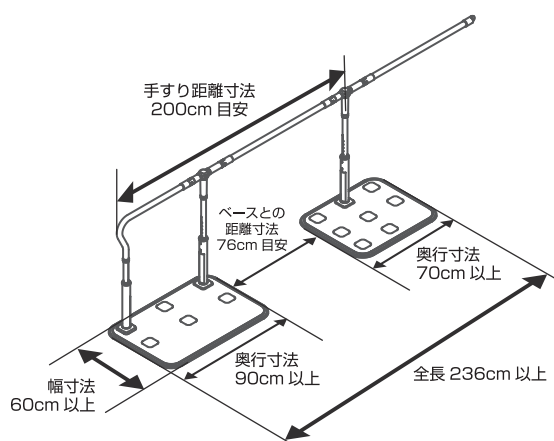
初めて使うときの準備

設置する場所と、ベースを置くスペースを確認する

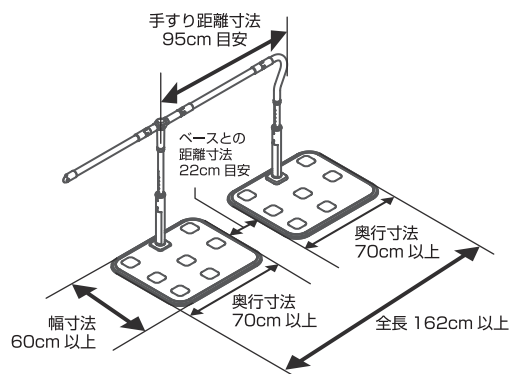
記載されている寸法を目安にベースの設置場所とスペースを確認する

※以上と記載されている箇所は製品寸法ではなく設置寸法です

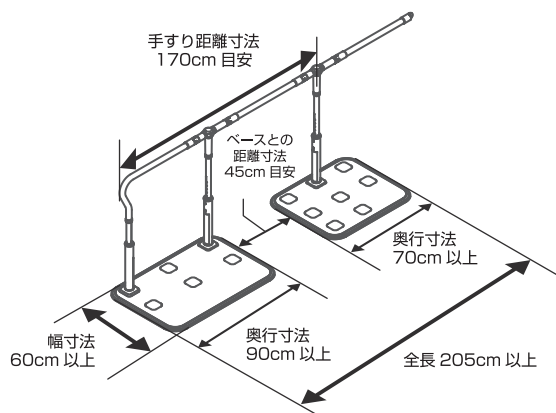
- ①
- ・ XPN-L80803 屋内用 930 タイプ
 - ・ XPN-L80810 屋内用回転手すり 330+930



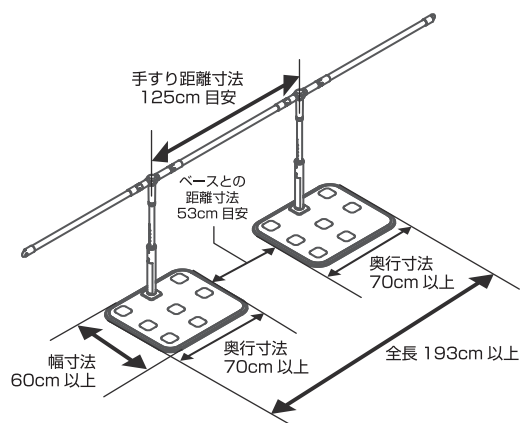
- ④
- ・ XPN-L80807 屋内用回転手すり 330
 - ・ XPN-L80809 屋内用手すり 210+620



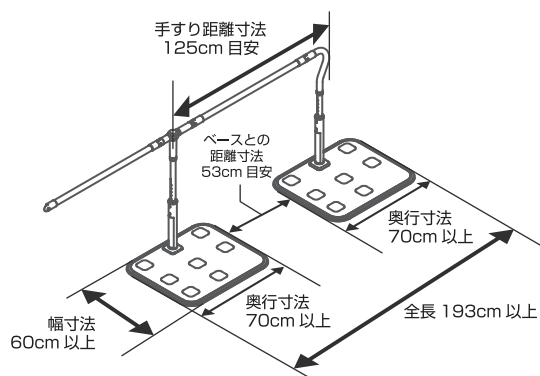
- ②
- ・ XPN-L80803 屋内用 930 タイプ
 - ・ XPN-L80811 屋内用回転手すり 330+620



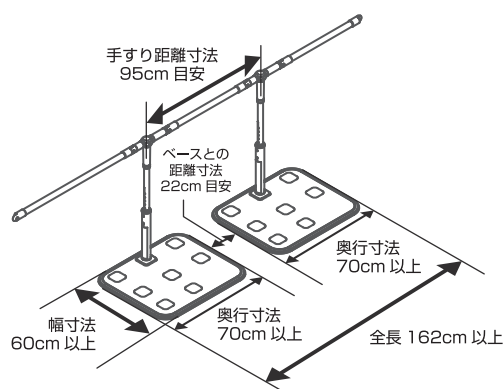
- ⑤
- ・ XPN-L80807 屋内用回転手すり 330
 - ・ XPN-L80810 屋内用回転手すり 330+930



- ③
- ・ XPN-L80807 屋内用回転手すり 330
 - ・ XPN-L80808 屋内用手すり 210+930



- ⑥
- ・ XPN-L80807 屋内用回転手すり 330
 - ・ XPN-L80811 屋内用回転手すり 330+620



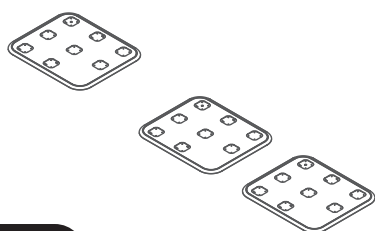
手すりを組み立てる

支柱の固定方法

組み立ての例として、記載しています。設置場所、組み合わせに応じて設置してください。

1 ベースを設置する

利用される位置にベースを設置する。



⚠ 警告

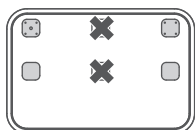
- 段差のある箇所に設置する際は、ベース端部が段鼻や踏面の縁よりも内側になるように設置する
- 隣り合ったベース同士が重ならないように設置する(転倒によるけがの原因)

2 支柱の取付位置を決める

支柱の取付位置を決め、使わない取り付け位置に穴ふさぎを取り付ける。
必ずベースを踏める位置に支柱を取り付ける。

連結して使用する場合

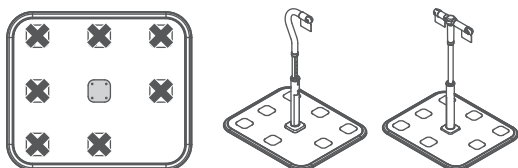
- ・ 標準ベース (✕ は使用しない箇所)



- ※ 標準ベース中央2箇所は使用しない
ミドルベースは全ての位置に取り付けできます

連結せずに使用する場合(単独仕様)

- ・ ミドルベースのみ (✕ は使用しない箇所)



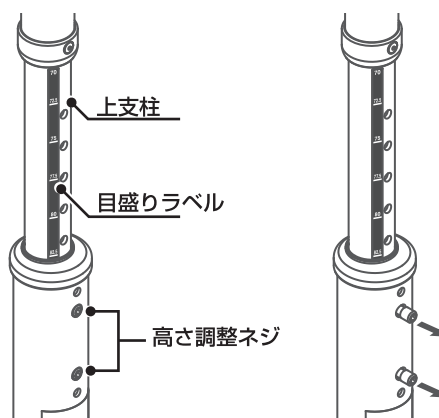
- ※ 屋内用標準ベースは単独仕様では使用しません

⚠ 警告

- 端支柱・回転連結支柱を単独で使用する場合は必ずミドルベースの中央位置に支柱を取り付ける(転倒によるけがの原因)

3 高さ調整ネジを緩める

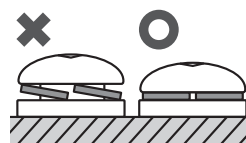
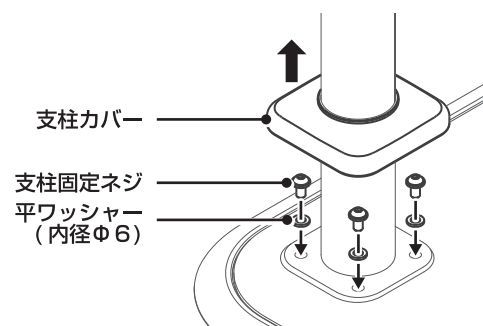
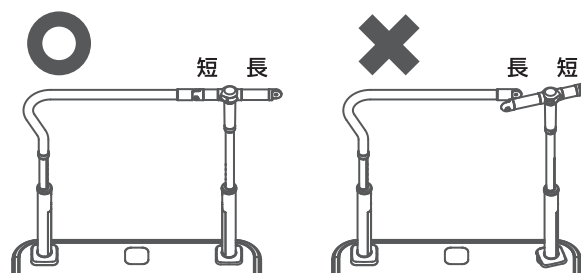
手すり同士を連結しやすくするため、各支柱の高さ調整ネジを緩める。



4 ベースに支柱を固定する

付属の六角レンチ(呼び 4)を使用する

支柱カバーを持ち上げ、付属の支柱固定ネジで支柱をベースに完全に固定し(各支柱毎に4本)、支柱カバーを下げる。(締め付けトルク4N・m以上)
※ 標準ベース内で端手すりと回転連結支柱を取り付ける場合は、回転連結支柱の短い手すり側と端手すりを固定してください(長短入れ替え不可)



⚠ 注意

- ネジは付属工具でしっかり締め付け、確実に締まっている事を確認する(破損、転倒の原因)

手すりを組み立てる

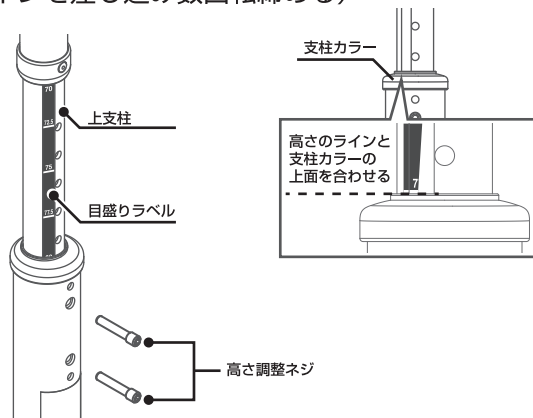
支柱の高さ調整と手すりの仮固定

5 端支柱・回転連結支柱・端手すりの高さを仮固定する

付属の六角レンチ(呼び 4)を使用する

手すり部の高さは7段階に調整ができます。
(床面から 70 / 72.5 / 75 / 77.5 / 80 / 82.5 / 85cm)

- ①各支柱の高さ調整ネジ2本を取り外し、上支柱に表示された目盛りで高さを合わせ、仮固定する。
(ネジを差し込み数回回転締める)



⚠ 警告

- ベースに支柱を固定した状態で高さ調整を行う
- 屋内用標準ベース内で使用する 2 本の支柱(端手すり+端支柱/端手すり+回転連結支柱)は、必ず同じ高さに調整する(P.12)(破損、転倒の原因)
- 必ず高さの仮固定後、手すりの仮固定を行う(順序を間違えると破損の原因)
- 高さ調整ネジを締め付ける際は、上支柱を持ち目盛りラベルの表示(線)を案内にネジが斜めに挿入されないようにする(ネジ穴の破損の原因)

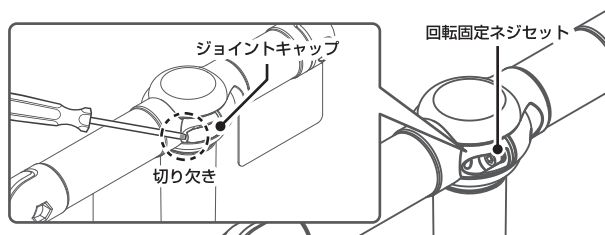
6 回転連結支柱手すり部の角度を仮固定する

付属の六角レンチ(呼び 4)を使用する

ジョイントキャップを外し回転固定ネジを緩め手すりを左右 90° 以内で任意の角度に調整し仮固定する。

回転固定ネジセットは緩めるだけで調整できるため外す必要はありません

※ジョイントキャップを外す場合は切り欠きにマイナスドライバー等を差し込んで取り外してください



⚠ 注意

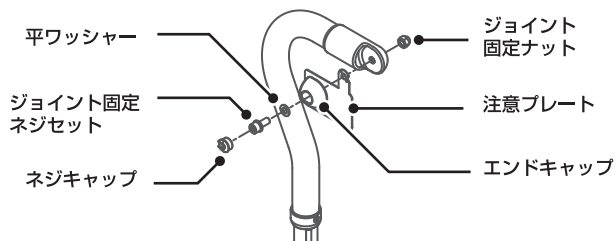
- 手すりの角度を調整するときは、必ず回転固定ネジを緩めた状態で調整をする(破損の原因)

7 手すりを仮固定する

付属の六角レンチ(呼び 6)を使用する

- ①手すりを連結して使用する場合はエンドキャップと注意プレートを取り外す。

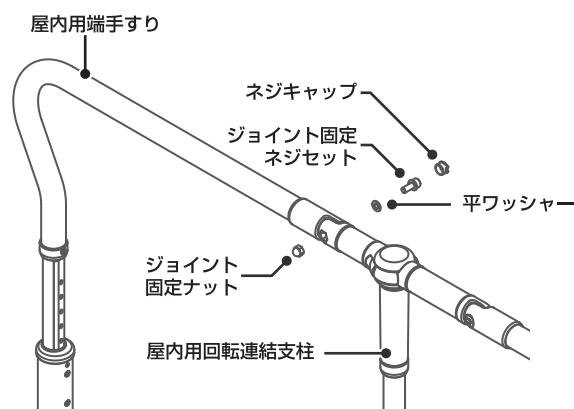
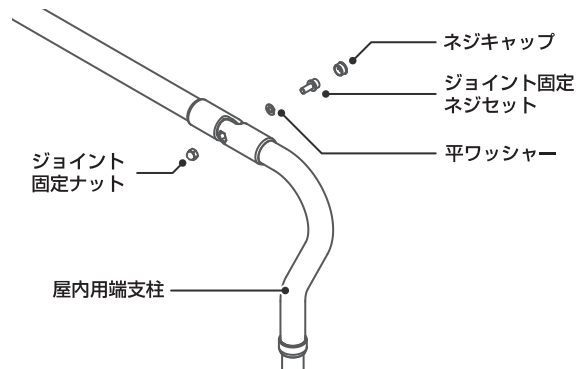
※単独仕様(屋内用手すり 210、屋内用回転手すり 330)で手すりを使用する場合は取り外さないでください



- ②手すりのジョイントまたは端手すりジョイントと端支柱ジョイントまたは回転連結支柱ジョイントをジョイント固定ネジで取り付ける。

(完全に締め付けず、仮固定の状態で取り付ける)
※ジョイント固定ネジ・ナット・平ワッシャーの落下に注意してください

- ③手すりの反対側も上記の手順で取り付ける。



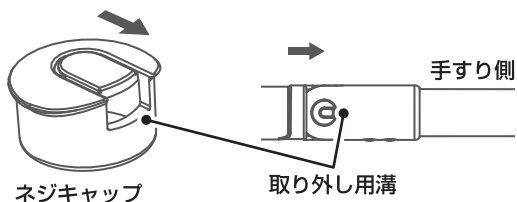
手すりを組み立てる

手すりの固定方法

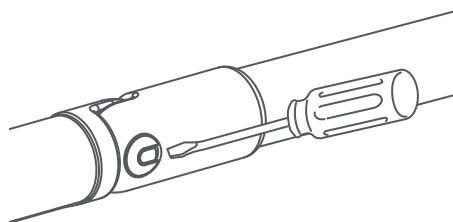
8 手すりと支柱を固定する

付属の六角レンチ(呼び 6)を使用する

- ①各ベースが地面に接地していることを確認し、仮固定していたジョイント固定ネジを締め付け、手すりを固定する。
(締め付けトルク 12N・m以上)
- ②各ジョイント固定ネジにネジキャップを取り付ける。
※ネジキャップには方向性があります。
下図のように取り外し用溝を手すり側に向けて取り付けてください。



※ネジキャップを外す場合は取り外し用溝にマイナスドライバー等を差し込んで取り外してください。



- ③仮固定していた回転固定ネジを締め付け回転しないように手すりを固定する。
(締め付けトルク 4N・m以上)
- ④固定が完了した後、ジョイントキャップを取り付ける。

9 端支柱・回転連結支柱・端手すりの高さを固定する

各支柱の高さ調整ネジを締め付け固定する。
(各支柱毎に 2 本)
(締め付けトルク 5N・m 以上)

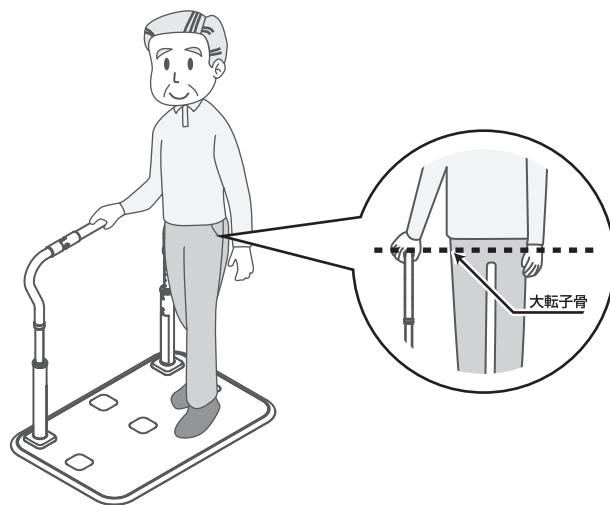
10 端支柱・回転連結支柱・端手すりの高さを調整ネジを増し締めする

各支柱の高さ調整ネジを増し締めし、完全に固定する(各支柱毎に 2 本)。
(締め付けトルク 5N・m 以上)

組み立ては終了です。
組み立て確認(P.18)を行ってください。

フィッティングの目安

- 横に立ったとき、腰(大転子骨)あたりに、手すりの上端がくるように高さを調整する



別売品

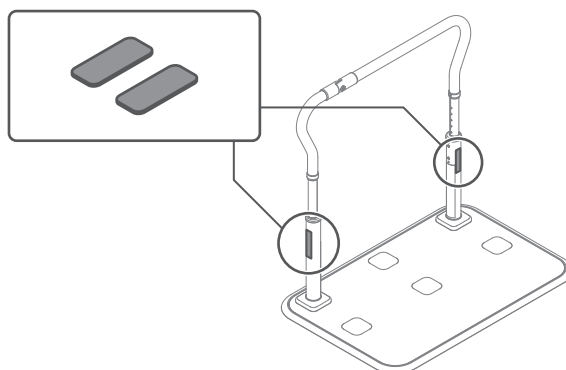
オプション品のご案内

■ 蓄光シール

- ・品番 PN-L8080023P
- ・メーカー希望小売価格

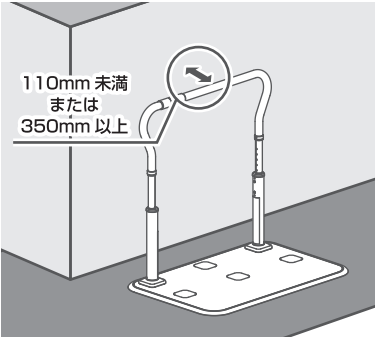
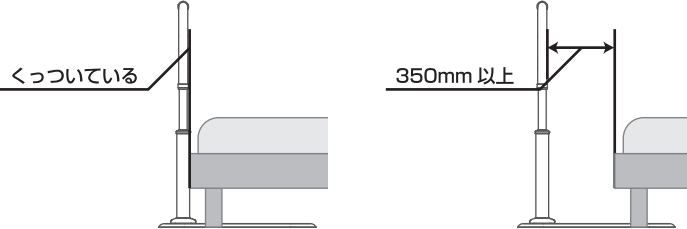
880 円 (税込)

- 2 枚で 1 組です。
- 暗闇でも製品の場所がわかり、転倒防止につながります。



組み立て・設置確認

以下の表に従って組み立て確認を行ってください

No.	確認項目	チェック
1	各部にガタつきなど異常がない	
2	ベースが床面に設置し、支柱が垂直になるように設置されている	
3	標準ベース内に取り付ける、「端手すり・端支柱」または「端手すり・回転連結支柱」は同じ高さに設定されている	
4	高さ調整ネジは最後に増し締めを行い、完全に固定されている	
5	ベースと支柱の固定ネジが完全に固定されている	
6	手すり同士を連結しているジョイント固定ネジが完全に固定されている	
7	回転連結支柱の回転固定ネジが完全に固定されている	
8	手すりの角度は上下 45°、左右 90° 以内に収まるよう設置されている (P.2)	
9	段差のある箇所に設置する際は、ベース端部が段鼻や踏面の縁よりも内側になるように設置されている (P.2)	
10	開き戸付近に設置する際は、扉と手すりの干渉や扉下とベースとの干渉を確認して設置されている	
11	ネジ頭にバリが発生していない	
12	各ジョイント固定ネジにネジキャップが取り付けられている	
13	端支柱、回転連結支柱を単独使用する際は、注意プレートが取り付けられている	
14	ミドルベース 1 枚に対して支柱は 2 本以上取り付けられていない (※標準ベースは除く)	
15	カーペットの穴ふさがりが取り付けられている	
16	支柱に警告ラベルが貼り付けされている	
17	ベース縁ゴムのめくれ・巻き込み、カーペットのめくれがない	
18	壁際に設置する場合、壁との間が 110mm 未満 または 350mm 以上になっている	
19	ベッドサイドに設置する場合、ベッドと平行に設置され、ベッドとの間がぴったりとくっついている、あるいは 350mm 以上の位置に設置されている	

お手入れのしかた

安全のため、定期的にお手入れをお願いします。

月1回以上 行ってください

- ガタつき、ネジのゆるみ・締め忘れがないか確認してください
- 部品の変形、破損がないか確認してください
- その他異常がないか確認してください

汚れがついたときに 行ってください

手すり部・支柱・ベース

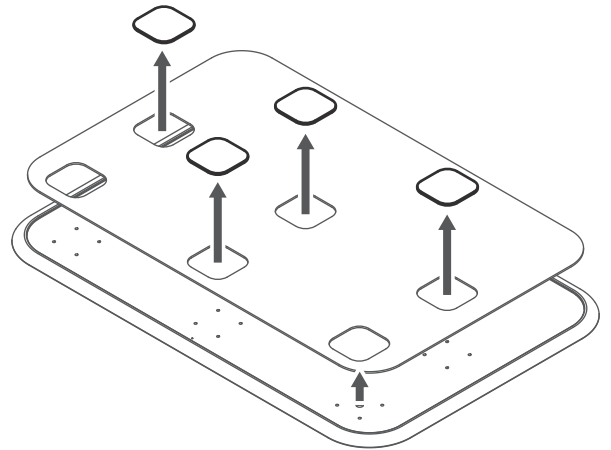
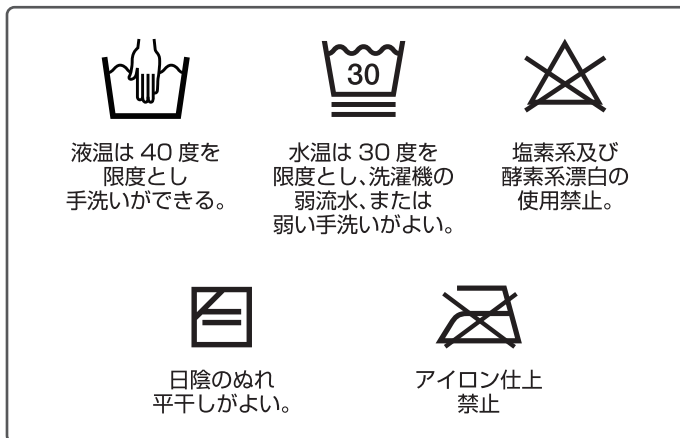
- ・中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布にふくませて水拭き後洗剤が残らないよう拭き取り、陰干しか、乾いた布で空拭きしてください

⚠ 注意

- 中性洗剤を使用してください
- アルカリ性洗剤、酸性洗剤、塩素系洗剤などは使用しないでください
- シンナーやクレゾール等の揮発性薬品は使用しないで下さい
- たわし、みがき粉、研磨剤入りのスポンジなどは使用しないでください
- オゾン消毒はしないでください
- 尿や塩分を含んだ液体が付着した時は、お手入れ方法に従い拭き取りをおこなってください

カーペット

- カーペットや穴ふさぎの表面に汚れが付着した場合は、掃除機などで取り除くか、水か中性洗剤を含ませた布を硬くしぼって拭き取ってください
- カーペットや穴ふさぎは洗濯することができます
洗濯については、下記洗濯表示にしたがって洗濯してください
- カーペットを取り外す際は、支柱を取り外し、カーペット・穴ふさぎを取りはずしてください



お願い

- 洗濯のあと陰干ししてよく乾かしてから使用してください
- 塩素系漂白剤による漂白はしないでください
- 布用消臭スプレーなどはカーペット裏面に使用しないでください
- 他の衣類と一緒に洗濯しないでください
- 柔軟剤を使用しないでください

修理を依頼される前に

下記の確認と処置をお願いします。

処置後なお、異常がある場合は、納入業者へご連絡ください。

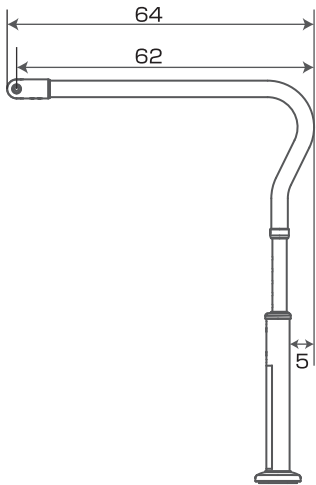
症 状	考えられる原因	処 置
使用中にガタつく	床面に段差がある	設置する床面の状況を確認してください
	高さ調整ネジがゆるんでいる	高さ調整ネジを締め付けてください
	支柱固定ネジがゆるんでいる	支柱固定ネジを締め付けてください
	ジョイント固定ネジがゆるんでいる	ジョイント固定ネジを締め付けてください
	回転固定ネジがゆるんでいる	回転固定ネジを締め付けてください
	ジョイントの裏のネジがゆるんでいる	ネジを締め付けてください 誤って外した場合は 納入業者へご連絡ください
支柱がかたむいたまま 戻らない	ジョイント固定ネジ又は 高さ調整ネジがゆるんでいる	ジョイント固定ネジ又は高さ 調整ネジを締め付けてください
	支柱固定ネジがゆるんでいる	支柱固定ネジを締め付けて ください
	ベースが重なっている	ベースの位置を重ならない ように調整してください
	ベースが浮き上がっている	ベースが床面に接触する ようベースの位置を 調整してください
異音がする	高さ調整ネジがゆるんでいる	高さ調整ネジを 締め付けてください
高さ調整ネジが締めにくい 奥まで締め付けられない	上支柱と下支柱の高さ調整穴が ずれている	ジョイント固定ネジと高さ調整ネジ を緩め、再度、高さ調整ネジの仮固定 から調整し直してください (先にジョイント固定ネジを固定して しまうと、支柱の穴位置がずれること があります)
支柱固定ネジが締めにくい	ベース穴位置と支柱固定ネジの 先端位置がずれている	支柱や手すりを動かして、 穴位置とネジの先端を 合わせてください
ベースを踏むとたわむ	手すりが突っ張ることによってベースが 反り、ベース中央が膨らんでいる	支柱固定ネジを緩めて下支柱 の位置を調整し、再度、支柱固 定ネジを締め付けてください
カーペットや穴ふさが 浮き上がっている	位置がずれている	位置を合わせてしっかり 押さえてください

仕様

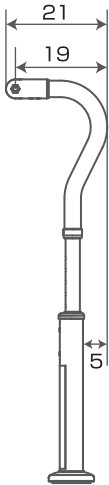
製 品 名	歩行サポート手すり スムーディ＜屋内用＞				
製 品 品 番	XPN-L80801	屋内用	質 量	22.0kg	屋内用
	XPN-L80802	屋内用 1530 タイプ		38.5kg	屋内用 1530 タイプ
	XPN-L80803	屋内用 930 タイプ		22.5kg	屋内用 930 タイプ
	XPN-L80804	屋内用 930 タイプ+930		23.5kg	屋内用 930 タイプ+930
	XPN-L80805	屋内用 930 タイプ+620		23.3kg	屋内用 930 タイプ+620
	XPN-L80806	屋内用手すり 210		15.5kg	屋内用手すり 210
	XPN-L80807	屋内用回転手すり 330		16.0kg	屋内用回転手すり 330
	XPN-L80808	屋内用手すり 210+930		16.5kg	屋内用手すり 210+930
	XPN-L80809	屋内用手すり 210+620		16.3kg	屋内用手すり 210+620
	XPN-L80810	屋内用回転手すり 330+930		17.0kg	屋内用回転手すり 330+930
	XPN-L80811	屋内用回転手すり 330+620		16.8kg	屋内用回転手すり 330+620
製 品 寸 法 質 量	幅 60× 奥行 90cm	17.5kg	屋内用標準ベース		
	幅 60× 奥行 70cm	13.5kg	屋内用ミドルベース		
	幅 9.5× 奥行 21cm	2.0kg	屋内用端支柱		
	幅 9.5× 奥行 64cm	2.5kg	屋内用端手すり		
	幅 9.5× 奥行 33cm	2.5kg	屋内用回転連結支柱		
	幅 3.4× 奥行 97cm	1.0kg	屋内用手すり 930		
	幅 3.4× 奥行 66cm	0.8kg	屋内用手すり 620		
手 す り 高 さ	70 / 72.5 / 75 / 77.5 / 80 / 82.5 / 85cm (7 段階)				
材 質	ベース・下支柱	：スチール			
	手すり	：塩化ビニル樹脂（被覆部） アルミニウム（芯材・ジョイント）			
	ベース縁ゴム	：塩化ビニル樹脂			
	カーペット	：合成繊維			
	支柱カバー・被覆	：エラストマー			
	支柱カラー・ネジカバー	：ポリプロピレン			
最大使用者体重	100kg				

製品寸法図 単位:cm

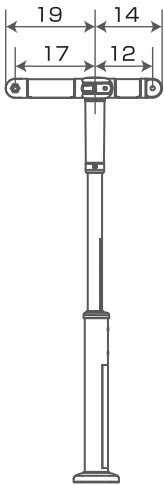
PN-L80803 屋内用端手すり



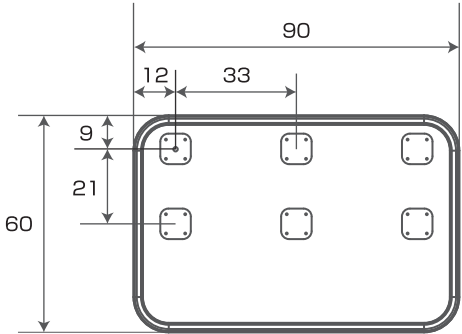
PN-L80802 屋内用端支柱



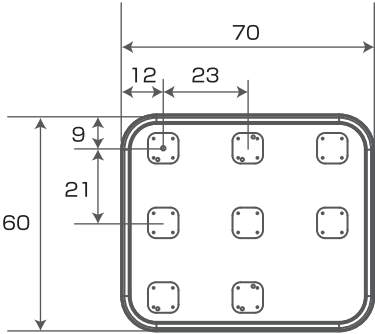
PN-L80805 屋内用回転連結支柱



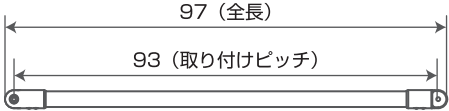
PN-L80801 屋内用標準ベース



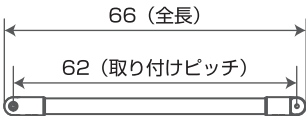
PN-L80804 屋内用ミドルベース



PN-L80806 屋内用手すり930



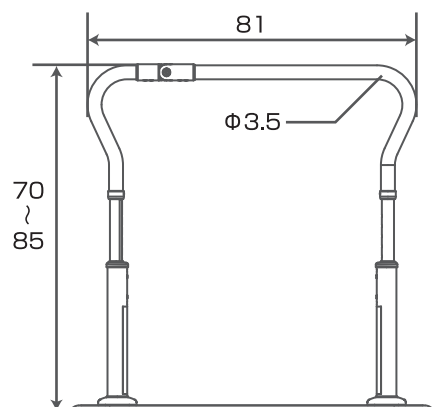
PN-L80807 屋内用手すり620



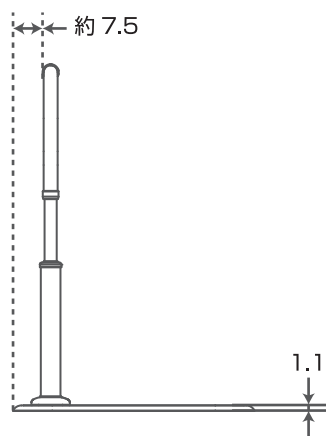
製品寸法図 単位:cm

XPN-L80801 屋内用

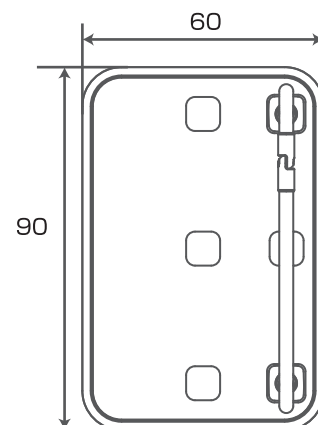
正面図



側面図

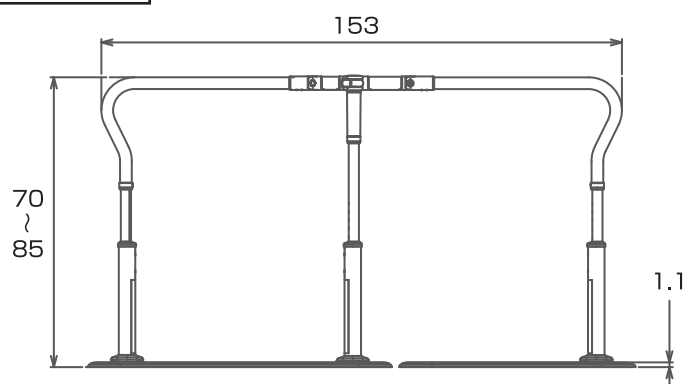


上面図

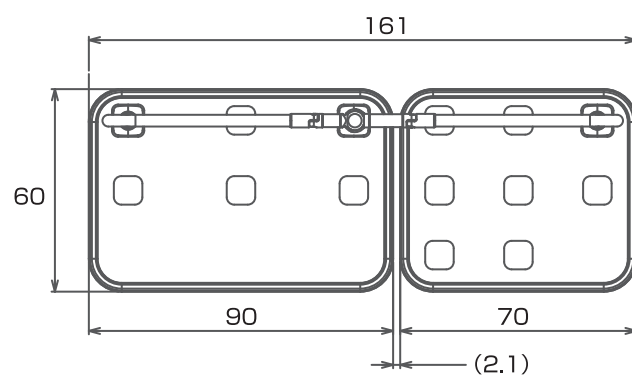


品番:XPN-L80802 屋内用1530タイプ

正面図



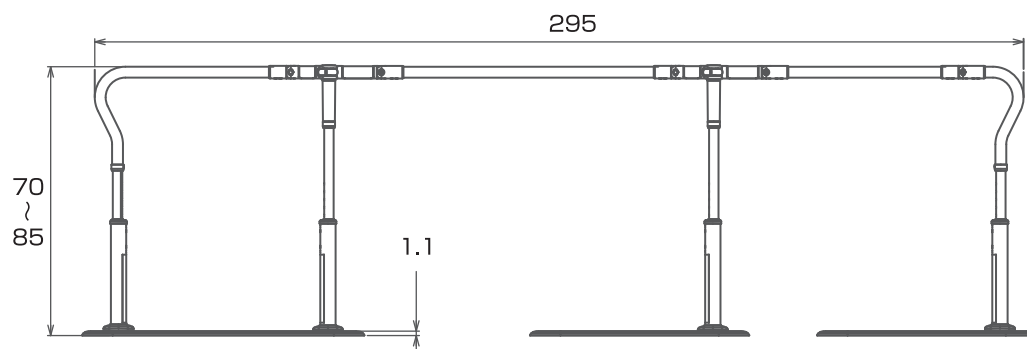
上面図



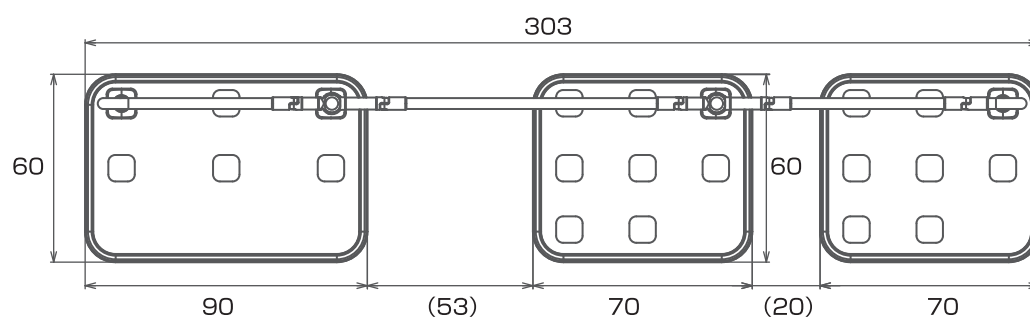
組み合わせ例

品番:XPN-L80803 屋内用930タイプ / 品番:XPN-L80810 屋内用回転すりすり330+930 / 品番:XPN-L80809 屋内用すりすり210+620

正面図



上面図



製品の長期使用について

1. 本体表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、製造年月日を本体に表示しております。(ベース裏、手すり芯材、支柱フランジ部に記載しています)。

2. 想定安全使用期間とは

一般家庭用にてご使用いただく歩行サポート手すりにおいて、標準的な条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。無償保証期間とは異なります。
※一般家庭以外(病院、施設など、不特定多数の方が使用される場所)に設置された場合は、使用条件により、想定安全使用期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

【想定安全使用期間】 8年(一般家庭にて使用いただく場合)

想定安全使用期間を越えてお使いいただいた場合は、経年劣化によるけがなどの事故に至るおそれがあります。

3. 経年劣化とは

長期間にわたる使用や処置に伴い生じる劣化をいいます。

保管方法

● 風通しが良く、日の当たらない場所で保管してください。

● ベースは壁などに立てかけて保管しないでください。

- ・ ベース縁ゴムの変形、破損のおそれがあります。
- ・ 転倒によるけがのおそれがあります。

● 次のような場所に放置しないでください。

- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ ストープなど火気を使用し高温になる場所
- ・ 湿気の多い場所や雨の当たる場所
- ・ 子供がいたずらをするおそれのある場所
- ・ 段差や凹凸のある場所
- ・ 潮風の当たる場所
- ・ ほこりの多い場所

● あらためて使用される前には必ず各部を点検してください。

廃棄上のご注意

● 廃棄する際はできるだけ素材別に分解し、地域の分別ルールに従い廃棄してください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・
修理などのご相談は

■ まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

● お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電話

お引き渡し日 年 月 日

■ 保証書

お引き渡し日・販売店名などの記入を確かめ、お買い上げの販売店からお受け取り、保管してください。

保証期間：お引き渡し日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 **5 年**

当社は、本製品の機能を維持するために必要な部品を、製造打ち切り後、5年保有しています。

修理を
依頼される時

■ まず、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ ご連絡いただきたい内容

- ① 品名
- ② 品番
- ③ お引き渡し日
- ④ 異常の状態（できるだけ具体的に）

【持込修理対象商品】

● 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

● 修理料金は次の内容で構成されています。
【技術料】 診断・修理・調整・点検などの費用です。
【部品代】 修理に使用した部品および補助材料代です。

※この商品は日本国内専用品ですので、日本国外で使用しないでください。万一、日本国外で使用された場合は、修理サービスはお受けになれません。

商品・お取扱いなどのご相談は

パナソニック エイジフリー株式会社

フリーダイヤル **0120-365887**

●受付時間 9:00～12:00 (土、日、祝日休み)
13:00～17:00

<https://sumai.panasonic.jp/agefree/products>

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック エイジフリー株式会社

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

©Panasonic AGE-FREE Co.,Ltd. 2021